

びわ湖かがやき ★カンパニー

vol. **72**
2017年6月発行

株式会社 福月 ふくづき

給食、宅配弁当、仕出し料理など高島の「食」を担ってきた株式会社福月。先代が町長を務めていた時代に地域の目玉商品となった「アドベリー」の生産・加工も行っています。2代目の専務取締役、福井雅之さん取材しました。(取材/4月11日)

びわ湖のほとりで「キラ」っと輝く滋賀県
中小企業家同友会メンバーの事業所、
商品、サービスをご紹介します。

<インタビュー>
取材まとめ：八木真紀(有限会社ウエスト)



先代が名付け親になった 「アドベリー」 高島の地域活性化プロジェクト

御社のアドベリー事業について教えてください。

福井 高島では13年前から「アドベリー」が生産され、加工品が販売されています。きっかけは、161号線沿いに新設する道の駅「藤樹の里あどがわ」で特産品を販売し、地域の活性化につなげるためでした。当時、日本ではほとんど栽培されておらず、アントシアニンや葉酸などのポリフェノールを豊富に含み、抗酸化作用があるということでニュージーランドが主産地のポイセンベリーが選ばれました。「アドベリー」という名前は、そのころ安曇川町長であった私の父が名付けました。



「当社はアドベリーの原料生産と加工品づくりを両立し、六次化を実現しています。アドベリーの果実の評価額は加工業者に有利な条件で設定されており、大変な手間暇をかけて栽培している農家が不利な状況です。今後は農家を守る仕組みづくりが必要ではないかと感じています」と福井専務。



当社を含めた地域の生産農家さんは、デリケートな果実の栽培にさまざまな苦労を重ねて有機栽培や無農薬栽培を実現し、店舗や事業所は果実や果汁をジャムやケーキ、パン、菓子、ジュースなどに加工し、特産品として売り出しました。

80代になる父は現在でもアドベリー栽培を手掛け、市内のアドベリー生産の4割を担っています。当社におけるアドベリー事業は、全体売り上げの1割ほどではありますが、何とか今後も地域を元気づけるツールとして残していきたいと思っています。

過渡期を迎えた「給食・仕出し業」 変革の時代へ

創業は昭和39年とのことですが、これまでの歩みとは。



「地域に支えられてここまでできました。今後も高島地域の“食”を支えていきたい」と福井専務。

福井 豊かな水資源に恵まれたここ高島では、古くから繊維織物が地場産業にありました。40年ほど前、織物組合の給食センターに勤めていた父がその事業を引き継いだことが当社発足の始まりです。父や母世代の人によると「朝は弁当や給食、夜は宴会料理を寝ずに作った」とのこと、当時は好景気に沸いていたようです。

やがて地域の繊維産業が衰え始めると、企業は給食サービスや弁当補助などの福利厚生を削減し、さらに誰もが想像しなかったコンビニが、弁当分野で強力なライバルとして出現するなど当社にとって逆風が吹き荒れていきました。現在の給食生産数はピーク時の2分の1にまで減少し、この20年ほどで事業縮小に伴う人員整理を余儀なくされてきました。この先5年後、10年後を見据えても、この地域での給食や



仕出しのサービス業に大きな成長は見込めないと予測しており、進むべき道の取捨選択を迫られる時期にきています。

近年、需要の高まっている高齢者向けの個人配達を始めました。直接お宅に配達に行きますので、特に一人暮らしの高齢者には、安否確認にもつながります。メニューもこれまでは「働き手」向けのポリariumのあるおかずが主体でしたが、野菜中心や発酵料理で名高い高島の土地柄を意識したメニュー開発にも挑戦しています。

最近、県内の大手給食業者が食中毒が原因とみられる業績悪化で廃業に追い込まれました。衛生管理はコストがかかりますが、表には見えない部分です。しかし、これをおろそかにしては「食」の事業は担えません。これまで同様、安心・安全には十分に配慮していきたいですね。今ある生産設備を活かし、これまで以上に地域の現状やお

客さまの要望をくみ取ったサービスを展開し、今後も「食」を通じたサービスで社会に貢献していけたらと思っています。

**「行動」が生む
新たな「つながり」
挑戦は、可能性へ**

他にも新しい取り組みを始められたようですが。

福井 事業の見直しの中で、アドベリー栽培で残るツルや葉、給食事業で出る生ごみを活用できないかと考え、堆肥にして再びアドベリー栽培に活かす取り組みを始めました。すると、このエコ事業に共感してくださった新旭町のローソンの店長さんが、同店にも生ごみ処理機を導入され、ローソンで出る生ごみを堆肥にして当社のアドベリー畑へ提供してくださることになったのです。当社はアドベリージャムを

ローソンさんに置いていた
だくことになり、面白いつ
ながりが生まれました。
ローソンでもこのような取
り組みは全国初だそうで、
ローソン本部やゴミ問題に
敏感な海外からも視察団が
訪れたほどです。
一つ「行動」を起せば、
想像を越える何かを生み出



新商品の「あど茶」

アドベリーの果実以外の「葉・つる・茎」を活用。緑茶と混合することで、万人に飲みやすい味を実現。アドベリー生産農家の効率化にも貢献します。

すのだとわかりました。これまでは利益優先でやってこれましたが、同友会で改めて「経営」について学び直し、今後は社員も同じ方向を向いて相互協力しながら進んでいく必要があると感じています。



今でもアドベリー栽培をする先代の福井会長。



株式会社 福月

高島市安曇川町五番領140-1
TEL 0740-32-4001
<http://www.fukuzuki.com/>

「びわ湖かがやきカンパニー」に掲載希望の会員様は、同友会事務局までご連絡ください。お申し込み多数の場合は、理事会等で掲載順を決めさせていただきますのでご了承ください。

滋賀県中小企業家同友会事務局
TEL 077-561-5333

周年事業はチャンスなのです。

「10周年」を迎えられる企業は100社に5社。
「30周年」は10,000社に2.5社しか残らないと言われています。
有限会社ウエストは、周年事業をステークホルダーへの感謝と共に未来への意思表示の機会と考えています。弊社は、感謝を表現する式典の運用や記念誌製作から、戦略決定のお手伝い及びその広報活動など、周年に関するワンストップサービスをご提供いたします。



滋賀県中小企業家同友会会員企業 **有限会社ウエスト**
〒523-0898 滋賀県近江八幡市たかかい町南一丁目3-11 <http://www.west-design.com>

0748-43-0155

担当：畑・成子・本田・片山まで